



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月10日

上場会社名 株式会社アーコア 上場取引所 名
コード番号 3384 URL https://arkcore.co.jp
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 正渡 康弘
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 土屋 勉（TEL）03(5928)1537
半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	3,091	△7.9	368	20.5	360	19.7	249	20.9
2024年2月期中間期	3,354	21.2	306	48.1	301	36.6	206	△5.5
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
2025年2月期中間期	円 銭 140.26		円 銭 132.17					
2024年2月期中間期	円 銭 116.17		円 銭 110.03					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年2月期中間期	百万円 2,741	百万円 1,129	% 41.2
2024年2月期	2,645	871	32.9

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 1,128百万円 2024年2月期 870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2025年2月期	—	0.00			
2025年2月期(予想)			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,918	9.4	553	113.7	537	119.0	372	126.3	207.57

直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年2月期中間期	1,970,000株	2024年2月期	1,970,000株
2025年2月期中間期	163,667株	2024年2月期	189,667株
2025年2月期中間期	1,778,181株	2024年2月期中間期	1,776,333株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、2024年4月から6月までの四半期別GDP実質成長率は2四半期ぶりにプラスに転じました。企業収益は上場企業を中心に緩やかに改善し、雇用情勢は完全失業率及び有効求人倍率ともに横ばい圏内ですが、世界的に長期金利が上昇から下降傾向にある中、円は短期金利の上昇により2024年8月以降急激な円高傾向にあるため、今後の金融市場の動向がわが国の景気に影響するおそれがあります。

当社の事業セグメントは、バイク事業及びフィットネス事業となっております。当中間会計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

国内バイクメーカーは若年層及び中高年層のリターンライダーをターゲットとした新車を投入して市場の活性化を図っており、海外バイクメーカーは、1000ccクラスの大型バイクだけでなく、発展途上国をメインターゲットとしてインドや中国で生産する比較的安価な400cc以下の車種に力を入れることで、より幅広い層への拡販を図っておりますが、これらの車種は日本の中型免許ユーザーや若年層ユーザーのニーズにもマッチしており、国内バイク市場においても拡大傾向にあり、コロナ以降、国内新車販売における需給バランスは供給不足が継続している状況となっております。

そのため、中古バイク販売店における販売価格は高止まりし、また、海外バイヤーの購入意欲が高いことも追い風となり、業者間オークションでの落札価格も高水準を維持しております。

このような状況下において、当社はバイクを売却したいユーザーの満足度と当事業における利益を両立する高価格での買取に取り組み、買取成約率の上昇と高粗利単価の獲得につなげております。

その結果、従来取り組めていなかったもしくは休止していた媒体への出稿が可能となり、バイクブームの中、バイクを売却するユーザーが減少する中でも、買取台数を維持するための新たなユーザー層を獲得できるという好循環を生んでおります。また、ユーザーからの問合せから買取りまでのオペレーション効率を徹底して見直したことにより、営業スタッフ一人当たりの生産性が向上しております。

バイク事業の当中間会計期間の業績は、売上高2,862百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント利益329百万円(前年同期比19.3%増)となりました。

(フィットネス事業)

当事業においてエンタイムフィットネスは4店舗、ステップゴルフは2店舗で増減はありません。

当中間会計期間でのエンタイムフィットネスの月平均会員数は、前年同期比6.4%増になりました。一方、ステップゴルフの会員数は同1.8%減少しました。

フィットネス事業の当中間会計期間の業績は、売上高228百万円(前年同期比3.9%増)、セグメント利益38百万円(前年同期比32.2%増)となりました。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は売上高3,091百万円(前年同期比7.9%減)、営業利益368百万円(前年同期比20.5%増)、経常利益360百万円(前年同期比19.7%増)、中間純利益249百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当中間会計期間末において総資産は2,741百万円となり、前事業年度末と比較して95百万円増加しました。主な要因としては、商品が129百万円増加し、現金及び預金が42百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末において負債は1,611百万円となり、前事業年度末と比較して163百万円減少しました。主な要因としては、1年内償還予定の社債を含む社債が111百万円及び1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が108百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末において純資産は1,129百万円となり、前事業年度末と比較して258百万円増加しております。主な要因としては、中間純利益249百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末の現金及び現金同等物は1,639百万円(前年同期は1,835百万円)となっております。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は195百万円(前年同期は得られた資金592百万円)となりました。主な要因は、税引前中間純利益362百万円及び棚卸資産の増加額130百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は23百万円(前年同期は得られた資金14百万円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出12百万円、無形固定資産の取得による支出5百万円及び差入保証金の差入による支出5百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は214百万円(前年同期は得られた資金130百万円)となりました。主な要因は、社債の償還による支出111百万円及び長期借入金の返済による支出108百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期の業績予想につきましては、当中間会計期間における業績の進捗状況及び直近の営業活動の状況を踏まえて、本日付で通期業績予想の修正を行っております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,693,752	1,651,743
売掛金	45,146	63,333
商品	664,412	794,079
貯蔵品	2,718	3,099
前払費用	22,678	23,989
その他	16,371	1,337
流動資産合計	2,445,080	2,537,583
固定資産		
有形固定資産	105,935	104,720
無形固定資産	7,629	7,328
投資その他の資産	87,332	91,400
固定資産合計	200,898	203,448
資産合計	2,645,979	2,741,032
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,116	24,523
1年内償還予定の社債	202,000	186,000
1年内返済予定の長期借入金	231,371	231,916
未払法人税等	41,669	125,035
賞与引当金	34,463	23,325
その他	213,820	193,926
流動負債合計	743,440	784,726
固定負債		
社債	340,000	245,000
長期借入金	689,543	580,911
その他	1,757	751
固定負債合計	1,031,300	826,662
負債合計	1,774,740	1,611,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	267,069	264,984
利益剰余金	442,677	692,081
自己株式	△72,333	△61,128
株主資本合計	870,238	1,128,762
新株予約権	1,000	880
純資産合計	871,238	1,129,642
負債純資産合計	2,645,979	2,741,032

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	3,354,882	3,091,467
売上原価	2,102,588	1,759,888
売上総利益	1,252,293	1,331,579
販売費及び一般管理費	946,230	962,754
営業利益	306,062	368,824
営業外収益		
受取手数料	2,491	2,422
その他	267	735
営業外収益合計	2,759	3,158
営業外費用		
支払利息	4,798	6,780
社債利息	2,352	1,354
株式報酬費用消滅損	—	1,624
その他	241	1,493
営業外費用合計	7,392	11,252
経常利益	301,429	360,730
特別利益		
固定資産売却益	—	1,787
特別利益合計	—	1,787
税引前中間純利益	301,429	362,517
法人税、住民税及び事業税	101,624	115,104
法人税等調整額	△6,554	△1,990
法人税等合計	95,070	113,113
中間純利益	206,358	249,403

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	301,429	362,517
減価償却費	17,565	16,826
株式報酬費用	4,699	92
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,633	△11,138
受取利息及び受取配当金	△240	△139
支払利息	4,798	6,780
社債利息	2,352	1,354
株式報酬費用消滅損	—	1,624
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,787
売上債権の増減額(△は増加)	2,439	△18,186
棚卸資産の増減額(△は増加)	274,195	△130,048
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,904	4,406
その他の流動資産の増減額(△は増加)	18,645	13,506
その他の流動負債の増減額(△は減少)	55,820	△12,076
その他	△1,195	5,487
小計	675,239	239,220
利息の受取額	218	154
利息の支払額	△7,229	△7,933
法人税等の支払額	△75,237	△35,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	592,990	195,464
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△900	△900
有形固定資産の取得による支出	△8,277	△12,177
差入保証金の差入による支出	△10	△5,257
差入保証金の回収による収入	24,114	256
無形固定資産の取得による支出	—	△5,386
出資金の払込による支出	△209	—
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	1,132	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,849	△23,464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△64,638	△108,087
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,296	△3,572
社債の償還による支出	△101,000	△111,000
割賦債務の返済による支出	△859	△1,249
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	9,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	130,205	△214,908
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	738,045	△42,908
現金及び現金同等物の期首残高	1,097,835	1,682,350
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,835,881	1,639,442

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前中間会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計(注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	3,134,694	220,187	3,354,882
セグメント利益	276,703	29,359	306,062

(注)「セグメント利益」は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計(注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	2,862,686	228,781	3,091,467
セグメント利益	329,997	38,826	368,824

(注)「セグメント利益」は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。